

還取額が日本銀行券預入令以来の記録を示した支店もある(仙台、鹿児島)。

## 五、物 価

一般購買力の低下並に主食満配の状況を反映して主食、調味料、燃料の価格は保合状態を示した(各店)。野菜類の如きは出廻り期に際し、五割方の低落を示せる地方もあり(下関)又納税資金調達のための手持品安売りも見受けられる等(仙台、小樽)物価は横這い傾向を辿ったが、基盤は依然強く資金豊富な向の買溜め傾向も相当見られた(名古屋)。(安齋)

## 昭和二十三年四月—六月

### 四 月 中

#### 一、概 況

米国の対日援助政策が明確化するに伴い、経済の安定間近しとの見方が一段と有力となつたが(各店)、外資導入の爲めにデフレ政策が強行されるのではないかと不安感を起している(名古屋、大阪)。

事業界の金詰りは物価改訂見越に伴う資金需要も加つて一段と激化したが(各店)、特に中小企業に於ては親会社よりの下請代金遅延の爲め此の傾向は著しい(松本、小樽、函館)。之が爲め労働組合の中には共産党フラク活動を排撃し、会社と相提携して苦境を脱しようとする傾向が見えるようになってきた(松本、前橋、大阪、下関、門司、岡山)。

春耕期を控えて農村の資金窮乏を救済すべく創設せられた農業手形制度は一般に好感を以て迎えられたが(秋田、甲府、松江)、本制度を単に公団配給の春肥引取資金のみに限らず農業資材、報奨物資等の購入資金にまで適用することを要望する向が尠くない(秋田、金沢、松江、福島)。

#### 二、預 金

前月多額の粉飾によつて激増した銀行預金は本月に入るや激減し中旬稍々持直したものの増勢鈍化し、下旬に入つてもさして伸張をみず(各店)一部では月中を通じ減少した所もあつた(函館、名古屋、金沢、神戸)。之は更正決定の所得税、

各支店金融報告抜萃 昭和二十三年四月—六月

酒税(各店)、織物関係価格差益納付金(金沢、新潟)を主因に政府資金の引揚が引き続き多額に上つたこと(各店)、物価改訂見越に伴う原材料、製品の抱込みによる預金引出が旺盛であつたこと(各店)、に因るものとみられるが、前月の粉飾に対する反動による点も尠くない。

又農業会預金の引出は農業所得税の納入が一段落した爲め稍々減退した地方もある(岡山、下関)、単作地帯は依然改まらず(秋田、青森、福島、松江)、市町村農業会より府県農業会に対する預金払戻資金請求は益々増大しつゝあり、之が爲め府県農業会に於ては預り金払戻しに応ぜられぬ所もあり(秋田)、農村に於ける預金不安を招いた。

#### 三、貸 出

政府支払の遅延、物価改訂を見越しての商品思惑買等の爲め借入申込輻輳したが、預金の伸びが悪い爲め貸出は相当引締められた(各店)。当月中の融資としては水産関係資金(函館、小樽、下関)、織物関係資金(大阪、金沢)、地方公共団体貸付金(前橋、高知、下関)等が主要なものである。尚近く融資準則の改正によつて財政資金の優先的確保の措置が採られ様としているが、預金の大半が浮動性預金である関係上市中銀行側は難色を示している(仙台)。

#### 四、本行公定歩合引上の影響

本行公定歩合は本月二十六日歩二厘乃至三厘方引上げられたが、之は金利体系の不均衡を是正するものと認められ、一般に著しい反対はみられない(札幌、広島、門司)。然し銀行としては財政資金産業資金の需要が増大する一方預金著増の期待し得ない現状に於ては日本銀行依存より脱却することは当分不可能であると考へている(小樽、秋田、仙台、福岡)。従つて結局貸出金利に転嫁するより外は無いと観ており(各店)、融資順位を丙種に改正された証券業者に対する貸出利率を早速引上げた所もある(小樽)。然し乍ら丙種事業に対する貸出は融資準則により貸出純増額の二割に制限されている爲め些して期待出来ず、市中銀行は経費の増嵩を理由として臨時金利調整法に基く最高金利の引上を要望している(金沢、松本、京都、岡山、大阪)。尚事業界方面の此の問題に対する関心は薄い様であるが(門司、松本)、一部では金融面より企業の合理化を促進するものと観る

向もある(前橋、松本、大阪)。

#### 五、物 価

近く行われる価格体系の改訂を見越して業者は買溜め売借しみを図っているが、一般購買力の不振に物価は未だ顕著な騰貴を示していない(仙台、静岡、岡山、松江、下関)。特に出廻り最盛期を迎えた野菜類(仙台、京都、鹿児島)、春暖の為め腐り始めた果実類は下落しており(小樽、青森)織維品も亦低落模様である。

#### 六、資金調整法の廃止

臨時資金調整法は七日廃止されたが、之は統制からの開放の第一歩として好感を以て迎えられた(各店)。廃止後資本金二十万円未満の会社の増資(青森、名古屋、岡山、下関)丙種事業の会社等の新設(小樽、神戸、松江、下関)が増加しているが、不急産業への資金の流入を抑制する為め臨時建築等制限規則の活用乃至は融資準則再検討の必要が叫ばれている(名古屋)。(黒崎、倉内)

#### 五 月 中

#### 一、概 況

月央経済安定本部より発表された復興五ヶ年計画第一次試案は日本経済今後の動向を示すものとして一般の注目を惹いた(前橋、金沢、名古屋、大阪、新潟)。然し乍ら鉄道運賃、通信料金の値上、公定価格改訂、昨年度に倍する本年度予算要綱等の発表によりインフレーションの進行必至との観測は依然として根強く、経済界の関心は中間安定かインフレーション再燃かに集中している(前橋、名古屋、大阪)。

一方事業界の金詰りは本年度予算編成の遅延に伴う政府資金支払の停滞(各店)、物価騰貴による運転資金の増加(各店)、労働攻勢に依る賃銀の昂騰(広島、大分)、購買力の減退等の為め一層深刻さを加えている(各店)。例えば北海道の各炭鉱に於ては買入資材等に対する未払額が約十七億円に上り、之が為め現在炭鉱住宅の建設を唯一の仕事としている土建業者の窮状は甚だしい(札幌)。又農器具製造業に於ても農村の資金窮乏化を反映し売掛金の増高に苦慮しており(札幌)、一部には手持品の投売も散見せられるに至つた(松山)。

尚供出食糧の蒐荷機構並に其の代金支払の方法が改正され、従来の農業会の外蒐荷機関としては協同組合並に商人、又代金支払機関としては協同組合並に銀行が新に指定されたが、予備登録の結果は農業会が九〇%以上を獲得し、新制度による変化は殆んど見られなかつた(仙台、名古屋、岡山、広島)。

#### 二、預 金

政府補助金、地方分与税分与金、預金部貸付資金等地方公共団体に対する政府の支払が進捗した為め公金預金は増加したが(各店)、前月以来不振の一般自由預金は依然として伸び悩んでいる(各店)。之が原因は依然たる政府支払の遅延(各店)、物価改訂見越しの囤積物資の増加による預金の引出(各店)、貸出の引締(岡山)等に求められるが、銀行が再建整備に忙殺され、預金勧誘に力を注ぎ得なかつた事も見逃せない(小樽)。

尚農業会預金は納税一段落に加えて農業手形制度の実施、蔬菜果実等の売却代金流入により漸く小康状態を示したが(各店)、単作地帯の預金払戻は依然として改まらず系統機関は払戻資金の調達に苦慮している(秋田、福島、新潟)。

#### 三、貸 出

市中の金詰りを反映し融資の申込は累増したにも拘らず(各店)、銀行は警戒的態度をとり(金沢、名古屋)、一般に貸出を引締めている(仙台、岡山、高知)。此の為め業界では掛売を余儀なくせられ、支払延期策としてとられた商業手形の流通も散見せられるに至つた(函館、京都)。尚資金需要としては織維関係資金(大阪、岡山)、地方公共団体への繋ぎ資金(福島、甲府、下関、高知、大分)、土建関係資金(函館、青森)、輸出茶、蘭前渡金等の季節的資金(静岡、甲府、松本)等が目立っている。

貸出金利は銀行経費の増高に昂騰を続け、一部では丙種事業に対し日歩三銭三厘を適用しており(青森)、軍事公債利払延期、物価改訂等を契機として臨時金利調整法による最高金利引上の要望は熾烈となつた(小樽、松本、高知、大分)。

#### 四、物 価

公価改訂を目前に控え高騰気味乍ら、一般購買力の不振に昨年七月の物価改訂前の如き昂騰は見られない(各店)。即ち主食類は代替品配給の増加、遅配出現に

より騰貴を見たが(小樽、前橋、大阪、下関、高知)、蔬菜、果実類は季節的廻廻關係に依り下落し(仙台、秋田、甲府、熊本、鹿児島)、織維製品も亦業者の納税資金の調達、購買力の減退に下落気味である(松本、京都、熊本、鹿児島)。月末公定価格を撤廃された高級魚類は懸念された価格騰貴は見られず(岡山)、却つて一部値下りを見ており(大阪)、一般の生活面に明るさを増している。

### 五、軍事公債の利払延期

七月一日より向う一年間軍事公債の利払を延期せんとする政府声明に対しては各金融機関とも経済問題を政党間の政治取引の具に供するものとして非難しており(秋田、前橋、下関、大分)、政府不信の声は高く、今後の国債復金債引受にも悪影響を与えるものと見ている(青森)。殊に本措置が金融機関の国家管理への第一歩ではないかとの懸念から金融界、産業界ともに絶対反対の態度をとり(前橋、甲府、金沢)、又利払停止額を未收利息として計上する事に対しても再建整備後の事として一般に難色を示している(前橋)。(黒崎、倉内)

## 六月 中

### 一、概 況

物価の全面的改訂或は龐大予算の編成は折角醸成せられつつあつた経済安定への気構を動揺せしめ、米国の対日援助の早期実現に対する一抹の不安と絡んでインフレーションの前途を悲観する者が多くなつて来た(各店)。然し乍ら事業界の金詰りは愈々深刻の度を加え(各店)、一部では企業合理化が真剣に考慮されている(広島、福岡、岡山、大分)。又市中購買力の低下を反映して商況不振に陥り、百貨店、商店方面の売上も前月に比し五割乃至七割に減少し(松山、小樽)、今次の物価改訂による値上りを待ち切れず処分売りを余儀なくされている向もあり(松山、鹿児島)此の所経済界の先行に関して確固たる見透しを立て得ない状況である。

### 二、預 金

四月以来不振状態を脱し得なかつた銀行の一般自由預金は今月に入り政府支払の進捗、納税の一段落(各店)購融資の振替による尙建預金(前橋、松本、甲府、松江)輸出茶代金(静岡)果実代金(下関、高知)の預入等に原因して著増を示

各支店金融報告抜萃 昭和二十三年四月一六月

し、例えば大阪組合銀行の月中増加高二、五七二百万円は前月の九九五百万円に比し二・五倍に當つている。又農業会の自由預金は払戻依然改まらず減少を続けている地方もあるが(秋田、福島、京都)麦、馬鈴薯、蕎麥、果実、野菜等の代金が振込まれたため増加した所も少くなく(前橋、岡山、静岡、下関、高松、松山、熊本、鹿児島)農業会の資金逼迫も峠を越したものとみられる(高知)。

第一封鎖預金解除の報道は一般に好感を以て迎えられたが(各店)特に預金吸収上好影響を与えるものとみられ(小樽、広島、高知、熊本)又農村方面の預金はその所有者が主として富農層であるから急速に現金化することはないとみている(甲府)。然し物価改訂に伴う換物傾向が懸念される折柄時期尚早との声も少くない(下関、松山)。

### 三、貸 出

事業界の金詰りと物価改訂に伴う増加運轉資金の需要を反映し資金借入の申込みは殺到しているが(福岡、松山、函館、札幌、神戸)、市中銀行は引続き貸出引締方針を堅持しており(仙台、京都、岡山)、更に回収強化に力を注いでいる処もみられる(熊本、大分)。然し乍ら預金増加に手許の緩和した關係もあり融資額は前月を上廻つたが(大阪)、購融資金(福島、前橋、松本、松江、高松)原系引取資金(新潟、前橋)茶買取資金(静岡)等の季節資金の外、電力、肥料、地方公共団体に対する共同融資(広島、松江)公団認証手形融資(大阪、下関、福岡、小樽、青森)が目立つている。

農業手形は有機肥料、農業、農機具にもその適用範囲が拡張されたが、その出廻りは当初の予想に反して鈍く、単作地帯に於ても予想額の一割程度に過ぎない(青森、新潟、福島)。之は農繁期の為め末端の手続が遅延していること、秋の収穫丈は喰込みたくないと言ふ農民心理、手続が煩雑なること等に基くものであるが(仙台、前橋)、根本的には貸付金額が少なく、而かも本制度の対象となる農家は殆んど預金の所有者である為めとみられる(鹿児島)。従つて単作地帯以外では、麦、馬鈴薯、蕎麥等の代金流入もあり利用者は殆んど皆無である(高知、岡山、京都、甲府)。

貸出最高金利日歩二銭八厘への引上が決定されたが、之は従来よりの要望が表

現されたものとして、銀行側は一応好感を寄せているものの、物価改訂による資金コスト高に早くも日歩三銭への再度引上げを要望している(下関、松山、広島、静岡、高松)。

#### 四、物 価

一般市中購買力の低下と業界の金詰りを反映し闇物価は保合乃至微騰程度にて、公定価格改訂の影響は未だ現われていないが、今後再び上昇に向うものとの観測が強い(各店)。品目別にみると端境期を迎えた米の騰貴が著しく(各店)一升二百五十円を越えた地方もあるが(京都)収穫期に入った麦、馬鈴薯は大幅に下落し(鹿児島、松山、広島)、特に豊作の野菜には公定価格を割るものも少くない(各店)。又繊維品が今後の出廻増加を期待して反落したことは注目される(函館、福島、松本、名古屋、京都)。

#### 五、公定価格改訂の反響

石炭、木材等重要基礎物資二十品目の物価第一次改訂は本月二十三日より実施されたが、予想以上の大幅引上に拘らず、その基礎となる三千七百円ベースは低きに過ぎ改訂物価の崩壊は必至であると見る向きが多い(函館、前橋、高知)。又石炭業に於ても低質炭地方は今回の引上を以てしても採算割を来たすとして不満の色が濃く(福島、札幌)製造業方面は増加運搬資金の調達に苦慮し(函館、静岡、仙台)、商業方面は原価高と一般購買力の低下に愈々窮状に陥るものとみられ(福島、新潟)更に之を契機として労働攻勢の熾烈化も予想されている(下関、函館)。かくて今次の物価改訂は単にインフレーションに追隨した価格倍率の変更に過ぎずとなし(下関)折角の安定意図に逆行するものとして非難する声が高い(熊本、高知)。(黒崎)

### 昭和二十三年七月——九月

#### 七 月 中

#### 一、概 況

政局の不安定、相次ぐ公定価格の改訂、本予算の成立にインフレ再燃の声が強

まりつゝあり(各店)経済安定十原則の発表も現内閣に対する不信心、解散気構えもあつて世論は余り関心を示していない(名古屋、前橋、松本)が、国家公務員法の改正に関するマツカサー元帥の書簡は一般に好感を以て迎えられた(各店)。事業界の金詰りは公価改訂によつて愈々深刻化し(各店)商況は夏枯れと購買力の減退により不振を極め(各店)殊に商店街は投売り、福引大売出し等により売急ぎに懸命である(各店)。取引高税に対しては、インフレを促進し、脱税目的の闇取引を醸成するものとして反対の声が聞かれる(小樽、前橋)。

#### 二、預 金

一方に於て本予算成立による政府支払の進捗(大阪、函館、福岡)公団預金の増加(小樽、福島)貸出による両建預金の増加(大阪、小樽、前橋)があつたとはいへ恰も市況夏枯れ期に当り(高知、高松、金沢、大分)盆資金の引出(前橋、静岡、甲府、熊本、鹿児島)納税資金の引出(各店)が多く、それに前月著増の反動(仙台、京都、松山、高松)を受けて、概して伸び悩みの模様である(各店)。農業会預金は、麦、馬鈴薯供出代金の振込にも拘らず、農繁期明け旁々盆を迎えて引出多く納税資金も加わつて之また伸び悩みの状態である(各店)。

#### 三、第一封鎖預金解除の影響

第一封鎖預金は本月二十一日を以て全面的に解除せられたがその影響としては解除後数日郵便局等の引出が目立つた程度で概して平静であつた(各店)。之は法人預金が少くなつてしたこと(岡山、下関、鹿児島)残高が零細なものが多いこと(各店)預金に対する信頼感の回復から却つて之を温存しようという心理が一般に認められること(松江)今日まで封鎖預金を保持していたのはやはり余裕のある者であつて差当つて引出の必要のないこと(大阪)等によるものである。とに角預金に対する信頼感と安心感とを取戻したことは著しいものがあり(各店)一旦引出した預金の再預入更にタンス預金の銀行預入(大阪、新潟)が見られる等今後預金吸収を促進するに与つて力あるものと思われる。金融機関としても負担の軽減により全力を預金吸収に集中することが出来るわけである(函館、青森、前橋、松江)。

#### 四、貸 出

銀行側は先行に対する警戒と今回の融資準則の改正を機として、既往融資の回